

令和4年洞爺湖町教育委員会第4回臨時会会議録

日 時	令和4年12月22日(木) 13:30より
場 所	役場第2委員会室
出席委員	教育長 洪川 賢一 委員 吉田 聡 委員 岡本 里佳 委員 岩崎 義久
欠席委員	委員 来栖 由喜
説明員	管理課長 高橋 謙介 社会教育課長 原 美夏 社会教育課参事 角田 隆志
会議録調整者	管理課主査 大楽 泰生
傍聴者	無し
日程第1 【開会宣言】	洪川教育長 開会を宣言する。(13:30)
日程第2 【前回会議録の承認】	洪川教育長 各委員の署名により、承認を確認。
日程第3 【教育長諸般の報告】	洪川教育長 11/ 1 町議会11月会議(議事堂) 11/ 2 洞爺湖町人づくり育成選考審査委員会議(役場202会議室) 11/ 3 洞爺湖町表彰式(防災研修ホール) " 町民文化祭展示部門(洞爺総合センター) 11/ 4 縄文都市連絡協議会総会、縄文シティサミット(鹿児島県霧島市) ~ 6 第32回広島道産子会総会(広島県広島市) 11/15 定例校長会議(第2委員会室) " 洞爺湖町校長・教頭合同研修会(防災研修ホール) 11/16 胆振教育局義務教育指導監学校経営指導訪問(教育長室) 11/18 男女共同参画社会講演会(ふれ合いセンター) 11/21 砂澤氏との事務打合せ(札幌市) " 定例教頭会議(第2委員会室)

- 1 1 / 2 3 町民文化祭芸能部門(洞爺総合センター)
- 1 1 / 2 4 臨時部課長会議 (2 0 1 会議室)
- " 地域別教育懇談会 (洞爺総合センター)
- 1 1 / 2 5 洞爺湖町通学路等安全推進会議 (防災研修ホール)
- 1 1 / 2 6 世界遺産子どもサミット (入江・高砂貝塚館)
- 1 1 / 2 8 地域別教育懇談会 (防災研修ホール)
- 1 1 / 2 9 中学生「税についての作文」表彰 (虻田中学校)
- " 第2回社会教育委員会議 (第2委員会室)
- 1 1 / 3 0 地域別教育懇談会 (観光情報センター会議室)
- " 洞爺湖町校長会との学力向上に係る事務打合せ (第1委員会室)
- " 洞爺保育所斉藤所長御母堂様葬儀 (伊達市)
- 1 2 / 1 虻田高校長との打合せ (教育長室)
- 1 2 / 2 体育施設に関する要望書への対応 (教育長室)
- " こどものマスク使用に関する要望への対応 (町長室)
- 1 2 / 3 故横山正氏葬儀 (伊達市)
- 1 2 / 6 部課長会議 (2 0 1 会議室)
- 1 2 / 7 定例校長会議 (第2委員会室)
- 1 2 / 1 2 全員協議会
- 1 2 / 1 2 町議会 1 2 月会議 (議事堂)
- ~ 1 5
- 1 2 / 1 9 読書感想画審査 (防災研修ホール)
- 1 2 / 2 0 木の玉プール贈呈式 (入江保育所)
- " 文化財運営審議 (委員会室)
- " 虻高未来づくりフォローアップ推進委員会 (防災研修ホール)
- 1 2 / 2 2 教育委員会議 (第2委員会室)

日 程 第 4

【 報 告 事 項 】

・ 報告第 3 6 号

渋川教育長

日程第4、報告事項でございます。

報告第36号、臨時代理の報告について

事務局より報告をお願いいたします。

高橋管理課長

議案書2ページ目でございます。

報告第36号、臨時代理の報告について、

洞爺湖町議会、令和4年12月会議提出一般会計補正予算第7号でございます。

洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので、同条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。

3ページ目、町長から教育長に対し補正予算に対する意見を求める文書でございます。

4 ページ目、教育長から町長に対し、異議はない旨の通知となっております。

補正予算の内容は、6 ページ目以降からとなります。

6 ページ目、歳入でございます。

22 款の町債、1 項町債、8 目教育債の部分で 280 万円の減額補正となっております、学校施設耐震化事業でございます。洞爺中学校の体育館の非構造物の落下防止の実設計に要する起債でございます。

こちらの内容につきましては後ほど歳出のほうで合わせて説明させていただきます。

7 ページ目、歳出でございます。

3 款民生費、5 項保育所費、2 目常設保育所費でございます。右側のほうの 1 節報酬で 470 万 9,000 円の補正をしてございます。こちらにつきましては、0 歳児の入所増などによる保育士の採用、あとは人事院勧告によって、会計年度任用職員の給料が 0.23% 増加した分の補正を行ったものでございます。4 節共済費社会保険料につきましては、報酬が増えたことに伴う増というような内容でございます。10 節光熱水費は電気料金の高騰による増額補正でございます。同じく 10 節修繕料、70 万 5,000 円の増でございますが、保育所修繕等による増という内容となっております。

続きまして 8 ページ目、10 款教育費、1 項教育総務費、3 目諸費でございます。右側の教育推進事業というところで、報奨金 53 万 2,000 円を増額補正してございます。こちらの内訳といたしましては、洞爺中学校が柔道の全国大会に出場した、経費の部分でここで増額補正するものでございます。あと、スクールカウンセラーの相談料についても若干増えているという形で、この中で補正をさせていただいております。

3 教育会活動支援事業でございます。7 節報償費で 18 万円の増額補正でございます。

これは、12 月から町内の齋藤真知亜さんというバイオリン奏者が、町内の学校でバイオリン講演させていただく事業で、次の芸術文化フェスティバルを中止したことの代替事業という形で実施したことに伴う、増額補正でございます。18 節の補助金については芸術文化フェスティバルを中止した減額補正となっております。

その下、5 番目箱根町中学生親善交流事業でございます。7 節報償費から 10 節の光熱水費まで、総額 95 万 2,000 円の減額でございます。こちらは対面による交流の中止に伴う執行残となる減額でございます。

4 項、教育住宅管理費でございます。事業費 77 万 9,000 円の増額補正という形をとってございます。教職員住宅のクロスの張替えや、設備修繕等による経費でございます。

2 項小学校費、1 目小学校管理費でございます。1 小学校管理事業で 395 万 6,000 円の増額補正をしてございます。1 節報酬、会計年度任用職員の報酬が 3 万 4,000 円増加してございますが、これは、人事院勧告に伴う給料改定による

増という形でございます。10 節の消耗品につきましてはペーパータオル等の支出増。燃料費、光熱水費につきましては、価格高騰に伴う増額補正でございます。修繕料につきましては 132 万 9,000 円の増となっており、温泉小学校の非常放送設備、虻田小学校の煙突等の修繕に要する経費でございます。

3 項中学校費、1 目、中学校管理費でございます。中学校管理事業で 609 万 6,000 円の増額補正でございます。1 節会計年度任用職員報酬につきましては、人事院勧告によるもの。10 節燃料費、光熱水費は価格高騰によるものでございます。10 節の修繕料につきましては 354 万 3,000 円補正してございますが、虻田中学校の玄関前の舗装や、洞爺中学校の落下防止に係る一部の修繕、あと、2 階トイレの排水設備の改修経費で増額補正をしてございます。12 節実施設計業務委託料 297 万円が減額補正となっております。こちらが歳入でお話した部分で、昨年度、洞爺中学校の非構造物の落下防止の調査を行ってございます。これは文部科学省の基準に合っているかどうかという調査でございますが、それによると、洞爺中学校の体育館の吊り天井やバスケットボールゴール、照明などの改修が必要だというような報告が出ております。それに伴う経費が約 6,000 万という形で出されております。その他、体育館の屋上が雨漏りをしておりまして、その屋上防水を行うのに約 2,000 万。また、これは非構造物の落下防止ではないのですけれど、高圧受電設備が建ててから 1 度も更新しておりません。本来であれば 20 年から 25 年のスパンで更新するのですけれど、40 年経過し 1 度も更新してないという形で、実際に暖房器具の漏電が発生して、非常に危険な状態になっていると。この設備を更新するのに、いろいろやると 4,600 万かかるというようなことがわかってきました。吊り天井の部分についてはですね、現場を町の建築士と一緒に見てございます。吊り天井を止めている部分が、溶接で留められておりまして、文部科学省はそこがボルトじゃないとダメです、という調査結果であります。今すぐに緊急事態になるかどうかというのは、地震の規模にもよるのですけれども、緊急性はそんなに高くないのではないかというような、現場の建築士の判断も踏まえ、それであれば、1 番危ない漏電で感電してしまう可能性がある、高圧受電設備のほうを優先してやったほうがいいのではないか、というような判断から、計画的に順次やって、最終的には吊り天井の方もやらなければならないと思うのですけれども、一度に全部やると 1 億以上のお金がかかると、それはなかなかちょっと難しい部分もあるので、今年はず一部で、例えば校歌だとか、照明器具という、ぶら下がっているもの、そこをしっかりと補強しましょうと。簡単な部分をやって来年度は、高圧受電の更新をしましょうと。そのあとに順次屋上防水だとか吊り天井という形で計画的に直していきたいということから、今回、この吊り天井の改修をする実施設計委託料については、減額補正させていただいたと。そのかわり、バスケットボールゴール、時計、校歌、照明などの簡易な部分ですけれども、若干の修繕を行っていくというような形で補正対応をさせていただいているところでございます。

10 ページ目でございます。

5 項保健体育費 3 目給食施設費でございます。洞爺給食センター運営事業、虻田給食センター運営事業、それぞれ 69 万円と 132 万 9,000 円の増額補正をしております。こちらは消耗品、燃料費につきましては、価格高騰の支出増によるものでございます。

虻田給食センターの会計年度任用職員の報酬については、人事院勧告によるもの。あと、備品購入についてはカゴや台車といったような老朽化により、若干壊れかかってきている分を更新するために購入しているものでございます。

11 ページ目、新型コロナウイルス感染対策消費の 3 目衛生対策費でございます。こちらの図書等感染症予防対策事業は、おもちゃ等を消毒する機械を今年買ってございます。そのとき入札で行ったのですけれども、入札で落ちなくて、一部設計変更して再度入札したという部分がありまして、そのときに 24 万 2,000 円を予備費から充用し、設計変更を行ったものを補正予算で対応したものでございます。

管理課の分については以上でございます。

原社会教育課長

6 ページに戻っていただきたいと思います。

歳入、21 款諸収入、5 項雑入、3 目雑入でございます。右側の区分のところの雑入ですが、社会教育事業費参加負担金で 108 万 9,000 円の減額をしております。こちらについては、新型コロナウイルス感染拡大のため、フレンドリーツアーの中止により参加費等が無くなったことによる減額補正を行っております。

9 ページをお開きください。

歳出、10 款の教育費、4 項社会教育費、2 目の社会教育奨励費でございます。右の 7 節報償費、163 万 9,000 円の減額でございます。こちらについては、報奨費 163 万 9,000 円、それと 8 節の普通旅費 8 万 1,000 円、それと、10 節の食糧費 16 万 3,000 円、13 節の施設使用料 58 万 1,000 円及び、駐車料使用料で 4,000 円、それと自動車借上料 12 万 5,000 円、こちらはいずれもフレンドリーツアーの中止に伴う減額補正です。

3 目、社会教育施設費です。こちらは、児童会の運営事業ですが、1 節報酬費 49 万 5,000 円の増額につきましては、人事院勧告の給与改定に伴っての、放課後児童クラブ支援員の報酬増額の補正でございます。また、改正に伴う額を含めた支出見込み額により、その不足分を増額しております。

続きまして、社会教育施設維持管理事業です。会計年度任用職員報酬 42 万円の減額につきましては、社会教育施設、母と子の館草刈りの会計年度任用職員報酬の減額となっております。光熱水費につきましては 96 万 2,000 円の増額。電気料の高騰により増額補正を行っております。

4 目図書館費です。需用費、18 万 2,000 円の増額につきまして、施設における電気料の高騰により光熱水費の増額を行っております。

10 ページに移ります。

5 項保健体育費、2 目体育施設費。こちら体育施設運営事業で、会計年度任用

職員報酬 52 万 5,000 円の増額を行っておりますが、こちらは虻田体育館の会計年度任用職員の人勧に伴う報酬の増額でございます。12 節町民プール送迎バス運行委託料 70 万 2,000 円の減額でございます。こちらにつきましては、洞爺地区の学校水泳プール閉館に伴い、虻田地区の町民プールまでの、送迎バス運行委託料です。当初予定していた便数が、学校等との協議により、期間が夏休み前後という形で、7 月から 9 月までの間の運行回数が減ったことと、スクールバスの活用による減額となっております。

以上です。

渋川教育長

質問があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

《「なし」の声あり。》

それでは以上のとおり報告を受けたということで御了承をお願いいたします。

続きまして、報告第 37 号、臨時代理の報告について、洞爺湖町特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について、事務局よりお願いいたします。

高橋管理課長

議案書 12 ページ。

報告第 37 号、臨時代理の報告について

洞爺湖町特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例でございます。洞爺湖町教育委員会教育長に対する、事務委任規則第 2 条第 1 項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので、同条第 2 項の規定によりこれを報告するものでございます。13 ページ目は、町長から教育長に対する条例案に対する意見聴取の文章でございます。14 ページ目が、教育長から町長に対し、条例案に対する異議はない旨の通知となっております。15 ページ目以降が条例案でございます。この条例は、保育料の無償化に関する条例改正でございます。

では、内容について説明したいと思います。

15 ページでございます。洞爺湖町特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例を、次のとおり定めるものでございます。

この改正の趣旨でございますけれども、子育て支援の充実のため、保護者の経済的負担軽減の一つである、保育料完全無償化に向け令和 5 年 4 月 1 日より、町内保育施設の利用料に係る料金、いわゆる保育料と副食費、一時預かり保育にかかる全ての料金をゼロ円とするため、所要の改正を行うものでございます。改正内容につきましては、16 ページの新旧対照表で御説明申し上げます。利用者負担額、保育料のことを書いているのですけれども、3 歳未満児に係る保育料の額を、規則で定める額というようにしておりましたが、それを 0 円とするというような改正でございます。それに伴いまして、第 4 条の利用者負担額の徴収や減免といったような規定が、保育料が 0 円になるという形で不

・報告第38号

要になりますので、この条項を削除して、第6条の委任を第4条に繰り上げるというような改正でございます。

議案書の15ページのほうに戻っていただきます。

附則でございます。1項の施行期日ですけれども、この条例は令和5年4月1日から施行するものでございます。2項の経過措置といたしましては、改正前の条例によってなされた処分等については、改正後も効力を有するというようなことを定めてございます。具体的には、例えば保育料の滞納があった場合、その滞納は前の条例でやられたことですので、0円になったとしてもそれは残ります、ということがこれで規定されるという形になります。第3項は準備行為ですが、条例の施行前であっても、令和5年4月1日以降であっても保育所の入所手続などは0円でやります、という手続をすることを認めていただける条項、という形で附則を定めてございます。

以上、御報告申し上げます。

渋川教育長

質問があればお受けしたいと思います、いかがでしょうか。

《「なし」の声あり。》

以上のとおり報告を受けたということで御了承をお願いいたします。

続きまし、報告第38号臨時代理の報告について、洞爺湖町教育委員会部局の人事異動について、事務局よりお願いいたします。

高橋管理課長

議案書17ページでございます。

報告第38号臨時代理の報告について、洞爺湖町教育委員会部局の人事異動でございます。洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第1項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので、同条第2項でこれを報告するものでございます。別冊の人事異動内示書というものがあるかとございます。ページをめくっていただきまして1ページ目でございます。令和4年12月12日付けで尾崎文郎さんが経済部建設課主幹より、学校給食センター洞爺給食センターの主査。青葉文夫さんが給食センターの主査から洞爺湖温泉小学校の主査にそれぞれ異動をしております。以上報告いたします。

渋川教育長

質問があればお受けしたいと思います、いかがでしょうか。

《「なし」の声あり。》

以上のとおり報告を受けたということで御了承をお願いいたします。

・報告第39号

報告第39号、管理課所管の各種事務事業の取組状況について、事務局よりお願いいたします。

高橋管理課長

議案書18ページになります。

報告第39号、管理課所管の各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告いたします。

一つ目、地域別教育懇談会の開催について。去る11月24日、28日、30日の

3日間、洞爺地区、虻田地区と洞爺湖温泉地区において、それぞれ昼の部、夜の部の2回、合計6回にわたり、洞爺湖町の子供の未来を考える日と称した地域別教育懇談会を開催し、今後の教育行政を展開していく上で、住民の率直な意見を伺ったところでございます。懇談会では洞爺湖町の子供たちの姿と、新しい教育の動き、洞爺湖町の社会教育の現状、洞爺湖町の教育施設の現状と課題の三つのテーマについて懇談を行い、累計36名の方々から、日頃より思い描いている考え方が述べられ、非常に意義のある懇談会となり、参加者たちからも、教育のことを話し合える場として今後も継続してほしいと要望を受けたところであります。今後につきましては、出された意見やアンケート結果を踏まえ、どのように教育行政の方向性を定めていくか相談しながら、協議検討を進めてまいりたいと考えておりますので、委員各位におかれましても、御理解御協力賜りますようお願い申し上げます。

二つ目バイオリン演奏会の開催について。本年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった、洞爺湖子ども芸術文化フェスティバルの代替事業として、町内小中学校児童生徒が、芸術文化を鑑賞体験する機会を創出するため、町内在住で、元NHK交響楽団バイオリン奏者である齋藤真知亜氏と、妻のバイオリン奏者律子氏による町内小中学校での演奏会を次の日程で実施しております。11月に演奏会を終えた虻田小学校からは、演奏がとてもすばらしく、子どもたちがバイオリンの世界に引き込まれたという報告を受けており、次年度以降の企画継続について要望を受けております。教育委員会といたしましても、児童生徒がさまざまな芸術文化に触れる機会を設けていきたいと考えているところであります。

三つ目学校給食の異物混入について。11月2日水曜日に、虻田中学校において提供いたしました、給食の麦入りご飯を生徒が盛り付けているところ、中にビニール片が混入しているのが発見されました。生徒が食べる前に発見したことから、幸い大事に至りませんでした。大変不快な思いとご迷惑をおかけしたことに対し、4日金曜日に同校の保護者の皆様に対し、お詫びの文章を出したところであります。ビニール片は、炊飯の過程において何らかの理由により混入したものと思われ、給食センターとしても、炊飯委託業者への指導したところであります。今後このようなことがないよう、関係者一同調理過程においてさらなる細心の注意を払い、安全安心な給食提供に努めてまいります。

以上御報告いたします。

渋川教育長

ただいまの報告について、ご質問などございますでしょうか。

吉田委員

1番目の教育懇談会についてなんですけども、今わかる範囲で結構です、参考までに、洞爺地区、虻田地区、温泉地区のそれぞれ、大体どれぐらいの人数が出て、年齢層はどれぐらいか、例えばその保護者の方が多かったとか年寄りが多かったとか、大体のところをお聞かせいただければと思うんですけど。

高橋管理課長

洞爺地区は18名です。昼の部、夜の部、あわせてですね。年齢層は保護者層が多かったと思います。洞爺湖町役場については、昼の部、夜の部をあわせて10名。そちらは保護者と地域の方々が半々ぐらいだったかなと。観光情報センターは昼の部、夜の部、あわせて8名です。こちらは地域の方々が多かったかなと。保護者は少なかったというような状況でございます。

渋川教育長

はい、ありがとうございます。

他いかがでしょうか。

岡本委員

教育懇談会なのですけれども、私も洞爺地区は昼と夜、あと温泉地区と虻田地区の昼1回ずつだったんですけど出ささせていただいて、普段はやっぱり洞爺地区のお母さんたちから話を聞くことができるんですけども、ほかの地域の方の考えとかを聞くことができなかつたので、初めてこういう機会を持ってよかったなっていうふうに思っています。あと、洞爺地区の出席された方からは、こんなふうに自分たちの意見を聞いてくれる場ができたなんて、すごいことだなんていうことで、大変評価しておられて、とても良い集いでよかったなと思うんですけど、6回あって、最初に全部同じ説明を30分ぐらいかけてするんですけど、せっかく皆さんオンラインとかもできる時代になってきたので、役場からの発信をもう少しハイブリッドといいますか、両方あると、どうしてもこの時間には出れない保護者も見れるよって、口コミですごくよかったよって、絶対見たらいいよって、私たちに関係のあることだからって言ったときに、やっぱここ（会場）に行かなきゃいけないとなると、かなり制約もありますし、見るだけでも町の教育委員会の考え方を知ることができますし、そういう二つの発信方法みたいなのも考えて、行ったらいいなっていうふうに思いました。以上です。

渋川教育長

YouTube だとかそういうところに撮りためておいて、配信をするとかですかね。

岡本委員

はい、とてもよかったので、それを見て、じゃあ次はほんとは行こうかなって思う方もいらっしゃるんじゃないかなって。ちょっと難しいのですぐには言わないんですけど。

渋川教育長

いろいろ検討させていただきたい。あと、ちょっと余談になるのですが、今回やっぱり人数が少なかったということもあって、年明けに今度は各学校を会場にして、少しですね未就学の小さなお子さんをお持ちのお母さん方も含めて案内を差し上げて、もちろん地域の方々もですけども、そういう場もまた作ってみようかなというふうに考えているところです。

岡本委員

そういう時に、お子さん連れでもいいですよって、一言書いてあると来やす

いって言うふうに言われたので、別にちょっと声出してもいいじゃないですかね、何となくそういうふうに書いていただけると来やすいついて言っていました。

渋川教育長

ありがとうございます。
他にございますでしょうか。

吉田委員

それはうちの息子の嫁なんかも、会議っていうかそのやってる間、保育をしてくれるような体制でもあれば出れるんだけどね、ということ言っていました。

岡本委員

そこはこの町に引っ越してきて1番思ったことで、やっぱりほかの町だと託児つきっていうのは結構多いんですけど、あまり見たことがないので。託児まで行けなくても、ちょっとそういう一言あるといいなって思っていました。

渋川教育長

ありがとうございます。また、いろいろ工夫してやってまいりたいと思いますので、ぜひいろんなご意見をお寄せいただければと思います。

他に何かいかがでしょうか。

《「なし」の声あり。》

それでは、以上のおり報告を受けたということで御了承を願います。

続きまして報告第40号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況についてお願いいたします。

角田社会教育課参事

議案書20ページになります。

報告第40号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について次のとおり報告するものでございます。

一つ目世界遺産子供サミットの開催について。世界文化遺産に登録された北海道北東北の縄文遺跡群の構成資産が所在する自治体の小・中学生を対象とした世界遺産子供サミットが11月26日土曜日に北海道教育委員会の主催で開催されました。サミットは筑波大学黒田教授の講演の後、道内外6市町の小・中学生がそれぞれの遺跡での学習や活動の成果をオンラインで発表し、相互の縄文遺跡の保護や活用の取り組みを学びました。洞爺湖町からは、虻田小学校、洞爺湖温泉小学校、とうや小学校の6年生5名が参加し、縄文土器づくりなどをそれぞれの学校での学習内容について発表いたしました。

二つ目、文化祭の開催について。町教育委員会との共催により洞爺湖町総合文化祭がステージ部門を10月2日、洞爺湖文化センターを会場とし、展示部門を10月15日から16日、虻田体育館を会場に開催され、合わせて約600名の町民の方々にご覧いただきました。また、洞爺地区では洞爺湖町民文化祭が展示部門を11月2日から5日。芸能部門を11月23日、いずれも洞爺総合センターを会場として開催され、合わせて約400名の町民の方々にご覧いただきました。両文化祭は洞爺湖町文化団体協議会並びに洞爺文化協会の会員の皆様を

はじめ、日ごろ創作活動に励んでおられる方々の発表の場として盛会のうちに終了をいたしました。なお、虻田地区には児童が製作した縄文土器、洞爺地区には児童生徒の絵画を出品し大変好評を博しておりました。

三つ目、洞爺湖町男女共同参画計画推進委員の委嘱について。男女共同参画計画を推進するにあたり、広く町民の意見を反映させるため 10 月 1 日付けをもって次の 4 名の方々に委員を委嘱いたしました。なお、第 1 回会議を 10 月 27 日に開催し、委員長に荒町美紀氏、副委員長に木村省平氏をそれぞれ選出し、洞爺湖町男女共同参画計画実施計画の策定等について審議いたしました。

四つ目、洞爺湖町男女共同参画講演会 2022 の開催についてでございます。洞爺湖町男女共同参画講演会 2022 を 11 月 18 日金曜日に、虻田ふれ合いセンターで開催し、43 名の町民の皆様に参加いただきました。今回は、札幌市男女共同参画センター、菅原亜都子氏を講師に迎え、持続可能なまちづくりの合言葉「ジェンダー平等」をテーマに、今後ますます少子高齢化が進む中、ジェンダーの視点を持ってまちづくりを考えていくことが大切であること、ジェンダーの視点とは何かをわかりやすく講演していただきました。参加した方からは、ジェンダー平等を考えるきっかけになった、などの意見をいただくなど、男女共同参画の理解を深めるきっかけとなりました。また、啓発グッズとして作成した洞爺湖町男女共同参画計画の基本目標などを掲載したオリジナルクリアファイルを来場者に配布いたしました。今後も男女共同参画の普及に向けて継続した取り組みを進めてまいります。

五つ目、美術見学旅行について。美術見学旅行につきましては、令和 2 年度から新型コロナウイルス感染症の影響で中止しておりましたが、3 年ぶりに白老町の国立民族共生象徴空間ウポポイを会場として実施いたしました。11 月 5 日土曜日、11 月 27 日日曜日の 2 回にわたって実施し、延べ 93 名に参加いただき、博物館では展示物、舞踏などを見学してアイヌの人々の歴史や文化に触れていただきました。

六つ目、縄文遺跡群ボランティアガイド養成講座の開催についてでございます。世界文化遺産北海道北東北の縄文遺跡群道内構成資産について、来訪者にその特徴と価値を総合的に解説できるボランティアガイドを育成することを目的とした、養成講座（北海道世界文化遺産活用推進実行委員会主催）が、11 月 19 日土曜日に入江・高砂貝塚館において開催されました。当日は町内外より 15 名の参加者があり、町学芸員による入江・高砂貝塚の保存と整備についての解説や、遺跡での、ガイドの方法などについて学習を行いました。以上でございます。

渋川教育長

ただいまの報告について何かご質問があればお受けしますが、いかがでしょうか。

《「なし」の声あり。》

以上のとおり報告を受けたということで御了承をお願いいたします。

日程第 5

【その他】

続きまして日程第 5、今日は議決事項ございませんので、そのままその他ということですが、何か委員の皆様からございますでしょうか。

岩崎委員

保育料の無償化についてお聞ききしてまして、実際に、無償化になったときって、大体、町の負担ってどれぐらいになるんですか。

高橋管理課長

現在、保育料の方でいただいているのか、本年度の決算見込みで大体 600 万ぐらいです。それが来年度から 0 円になるので、その部分は町の一般財源のほうから補填するというような形になります。

岩崎委員

共働きだと世帯収入が上がって保育料も増えるんで、保育所に入れるのを躊躇しても、無償だったら、(保育所に預けようと思う保護者が) 増えるかなと。そういったのを含めると、保育士さん(の人数) なんかも増えていくのかなあと思う。

高橋管理課長

3 歳児以上はもう既に無償化になってますので、そんなに変わらないと思うんですけども、未満児のほうは無償化になることによって増える可能性がある。そうすると 0 歳児とか 1 歳児とか、特に手のかかるというか、ちょっと 1 人で見る数が限られる子たちの入所が多くなる、というふうなことは想定してございます。そうなった時にはですね、当然保育士さんを確保しなければ、できない形にはなりますので、その辺は町長部局の方とも協議しながら進めていきたいというふうに思っております。

渋川教育長

その他いかがでしょうか。

岩崎委員

はい、ちょっと僕も母校なんで興味あるのですが、洞爺中学校の修繕にすごくお金がかかるとお聞きして、前に、小中一緒にするって、そういうのって言うのはやっぱり、もうこの修繕自体が待ったなしのひどい状態で、もうちょっとこう、そういう構想が出てくるまで持ちこたえられないものなんですかね。

高橋管理課長

そうですね構想というのは、まだちょっと正式には決まっていない部分もあるんですけども、仮になったとしてもですね、できるまでやっぱりそれなりの年数がかかってくると思います。その間、待てればいいんですけども、高圧受電設備なんかはですね、漏電もし始めているという形になっていて、触ったらすぐに感電するという状態ではないですけども、可能性があるということ。やっぱりそこは、待つとちょっと命の危険も出てくるのかな、というふうなことがあって、やらなければならないなというような判断をしております。

岩崎委員

漏電とかそういうのは、本当に非常に危ないと思うんであれなんですけど、それ以外の天井のそういう補修だとかって、莫大な予算かかるのかなと思って、

<p>日 程 第6 【 閉 会 】</p>	<p>それで、もしどっか違うところ（学校）になったら、もったいないなって何となく思ったので。思っただけです、はい、ありがとうございます。</p> <p>渋川教育長 はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。 よろしいですか。 《「なし」の声あり。》 事務局から何かありますか。</p> <p>高橋管理課長 ありません。</p> <p>渋川教育長 それでは日程第6ということで、以上をもちまして、洞爺湖町教育委員会令和4年度の第4回臨時会を終了させていただきたいと思います。 どうもお疲れさまでございました。</p> <p>14：12 閉会</p>
---------------------------	--